

コミュニティとして!

2019. 6. 15
美幌町図書館長 竹花 史康

大変残念なことに、毎年、美幌町図書館の来館者数と本の貸出数が3～5%ほど減少傾向にあります。それに対して少子高齢化、人口減、活字離れ等々の理由をつけることは簡単なことですが、重要なことは、図書館として何ができるか、何をすべきかということになります。

美幌町図書館の建物は今年41年目となり、15万冊の蔵書を十分に活用いただくには少し手狭になってきました。メインの書架にエアコンがないことやインターネットを利用できるパソコンは1台しかないなど、ご利用いただいている皆さんには施設設備の面でご迷惑ご不便をおかけしています。

しかしながら、天井が高く開放感を感じる書架をはじめ、音響的に優れた広い視聴覚室や、いろいろなイベントに多目的に利用いただけるギャラリースペースなど、特色ある設備を備えた図書館でもあります。

今、図書館をヒトとヒトをつなぐ機関として見直す動きがあります。これは今まで以上に図書館にコミュニティの役割が求められているということです。そのためには、図書館の方から市民の皆さんに近所付き合い的なつながりを求めたり、自治会などの地域社会との連携を深める必要があります。

そこで、美幌町図書館として今月は、“**おとなのための朗読会（6月16日）**”と、“**レコードコンサート（6月22日）**”を計画しました。

日常的にご利用いただいている方だけでなく、普段あまり図書館に来られない方にも働きかけ、少しでも図書館に訪れてもらうことで、美幌町図書館の活性化を図りたいと思っています。

そして、文化的、知的な交流の場として、あるいは、ゆっくりリラックスできる場所として皆さんとつながりながら、少しでも魅力を感じていただけるような図書館を目指していきたいと思っています。

